



※ 今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、全日本女子アイスホッケー大会の歴史を永く継承し存続発展させることに重点を置き、規模を縮小して開催する。

第40回全日本女子アイスホッケー選手権大会開催要項

1. 大会名 第40回全日本女子アイスホッケー選手権大会
2. 主催 公益財団法人日本アイスホッケー連盟
3. 主管 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟
4. 競技主管 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟
5. 後援(予定) 北海道、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌市、一般財団法人札幌市体育協会
6. 開催期日 2021年3月11日(木)～14日(日)
7. 開催場所 札幌市/札幌市月寒体育館
北海道札幌市豊平区月寒東1条8丁目 TEL 011-851-1972
8. 参加制限
(1) 第39回(2019年度)全日本女子アイスホッケー選手権大会(A)への出場の権利を有した8チーム。
9. 参加資格
(1) (公財)日本アイスホッケー連盟に大会開催日1ヶ月前までに登録されているチームの役員・選手とする。また、加盟団体・ブロックの主催する予選会が行われた場合は、加盟団体・ブロックの主催する予選会終了後に移籍または新規登録した選手については、今大会への出場を認めない。
(2) 出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手について各チームで学校長および保護者の承諾を得ること。
(3) 日本国籍を持たない者の参加は1チーム3名までとし、2020年8月31日までに国際アイスホッケー連盟が定める国際移籍手続きを済ませた選手に限ることとする。
(4) 今大会において、選手および役員は2チーム以上の登録は認めない。
(5) 別紙「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を遵守すること。大会参加同意書ならびに大会2週間前からの体温測定表、観戦者名簿の提出が必要です。(チームの試合日の初日に大会本部に提出すること)
10. 競技方法
(1) 第38回(2018年度)(A)大会および第23回(2018年度)(B)大会の成績によりA、B2組に分け予選トーナメント戦を行い、その成績に基づき、決勝トーナメント戦及び順位決定トーナメント戦を行う。
【予選トーナメント・Aグループ】
 - ① 第38回(A)大会1位 - 第23回(B)大会1位
 - ② 第38回(A)大会5位 - 第38回(A)大会4位
 - ③ ①敗者-②敗者
 - ④ ①勝者-②勝者

【予選トーナメント・Bグループ】

- ⑤ 第38回(A)大会3位 — 第38回(A)大会6位
- ⑥ 第38回(A)大会7位 — 第38回(A)大会2位
- ⑦ ⑤敗者—⑥敗者
- ⑧ ⑤勝者—⑥勝者

【決勝トーナメント】上位4チーム

- ⑨ Aグループ1位 — Bグループ2位
- ⑩ Aグループ2位 — Bグループ1位
- ⑪ ⑨敗者—⑩敗者(3位決定戦)
- ⑫ ⑨勝者—⑩勝者(決勝戦)

【順位決定トーナメント】下位4チーム

- ⑬ Aグループ3位 — Bグループ4位
- ⑭ Aグループ4位 — Bグループ3位
- ⑮ ⑬敗者—⑭敗者(7位決定戦)
- ⑯ ⑬勝者—⑭勝者(5位決定戦)

- ※ 第24回(2019年度)全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)で優勝したチームは、次回大会のAグループの権利を有するものとする。
- ※ 今回大会8位チームは、次回大会はBグループとする。
- ※ 今回大会の出場資格を有したチームが不参加の場合は、次回大会はBグループとする。

11. 競技規則

- (1) I I H F 国際競技規則に基づく。
- (2) 競技時間は各ピリオド正味20分、インターバル10分とする。
- (3) ボディチェックは禁止。
- (4) ヘルメットは全面を覆うフルフェイスマスクを必ず着用すること。
- (5) ネックガードおよびマウスガードを必ず着用すること。
- (6) 原則として頭髪はヘルメットの中に納めること。
- (7) 各チームのプレーヤーは全員同じユニフォーム、パンツ、ストッキングおよびヘルメットを着用するものとする。
- (8) 第3ピリオド終了時点で同点の場合は、ただちに「3on3方式」による5分間のサドンビクトリー方式の延長ピリオドを行う。(Aグループ決勝戦のみ3分間の休憩後「3on3方式」)
- (9) 延長ピリオドで得点がなかった場合は、ただちに3名ずつのペナルティショット・シュートアウト(PSS)が適用される。(Aグループ決勝戦のみ国際競技規則に基づくPSS)

12. 申し込み

- (1) 日本アイスホッケー連盟 FaceOff システムの大会申し込みフォームにログインして <https://www.jihf.or.jp/meet/entry/> 必要事項をオンラインにて入力する。ログインの大会IDとパスワードは、日本アイスホッケー連盟(TEL.03-3481-2404 jihf@jihf.or.jp)に照会すること。
- (2) 参加申込用電子データに入力後、プリントアウトし、所属加盟団体を通じ、(公財)日本アイスホッケー連盟へ郵送すること。
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 506
(公財)日本アイスホッケー連盟(TEL. 03-5843-0375 FAX. 03-5843-0376)
- (3) チームのホーム用およびビジター用ユニフォームの写真を、電子メールにて(一財)北海道アイスホッケー連盟(hihf@star.ocn.ne.jp)宛てに送信すること。

13. 締切日 2021年2月1日(月) 期日厳守のこと。

14. 役員・出場選手

- (1) チームのベンチ入り選手は22名以内（GK含む）、役員は8名以内（最低1名）とする。

15. 参加料

- (1) 1チーム80,000円として、申込みと同時に主催連盟の銀行口座に納金すること。
- (2) 振込先 三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通預金 口座番号2819785
ザイ) ニッポンアイスホッケーレンメイ
公益財団法人日本アイスホッケー連盟

16. 棄権による罰則

- (1) 申込締切り後、棄権を申し出るチームは、(公財)日本アイスホッケー連盟(主催連盟)にその理由を添えて通知すると同時に不参加料80,000円を納入すること。
- (2) 事前の棄権通知を怠り、且つ、不参加料を納入しないチームは、いずれの場合も今後の(公財)日本アイスホッケー連盟の主催する公式試合の参加を認めない。この出場停止期間は(公財)日本アイスホッケー連盟において別に審議決定する。

17. 開会式および監督会議

- (1) 開会式・監督会議は行わず、書面通知で行う。

18. 表彰式および閉会式

- (1) 日 時 2021年3月14日(日)最終戦終了後直ちにリンクで行う。
- (2) 参加者 各グループ1位、2位チームは全員が参加すること。
- (3) 表 彰 ○優勝 賞状・優勝杯(会長杯)
○準優勝 賞状・準優勝杯(会長杯)
○ベスト6 賞状・トロフィー ○最優秀選手賞 賞状・トロフィー
○最優秀新人賞 賞状・トロフィー

19. ベンチ

- (1) 対戦表の左側チームは、オフィシャルボックスに向かって右側のベンチに入る。
- (2) 試合でのホームおよびビジターの決定は、試合開始前のパクトスによる。

20. 公式練習

- (1) 公式練習は行わない。練習を希望するチームは有料にて受け付ける。
- (2) 練習を希望するチームは、2021年1月7日(木)までに(一財)札幌アイスホッケー連盟 Email (Email sihfsapporo@coffee.ocn.ne.jp) にメールで申し込むこと。先着順で希望時間を斡旋する。

21. 保険の加入

- (1) 大会中における怪我について、責任を負わない。
- (2) 大会参加チームは保険に加入し、保険証書のコピーを監督会議の際に受付に提出すること。

22. ドーピング検査

- (1) 全日本女子アイスホッケー選手権大会はドーピング検査対象大会である。
- (2) 競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。なお、18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
- (3) 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト (<https://www.p>

laytruejapan.org/jada/u18.html) からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員 (DCO) に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続きには一切影響がないものとします。

郵送先: 〒112-0002 東京都文京区小石川 1 丁目 12 番 14 号

日本生命小石川ビル4階

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 検査部 宛

- (4) ドーピング検査対象選手が未成年者 (18 歳未満) の場合は同伴者 (同性の成人、選手以外) の付き添いが必要となる。
- (5) 競技会参加者は競技会において実施するドーピング検査を拒否又は意図的に回避した場合、検査員の指示に従わない場合、個人的事情により検査手続きを完了することができなかった場合は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (6) 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査、使用禁止薬物については、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のウェブサイト <http://www.playtruejapan.org> で確認すること。
- (7) TUE 『治療使用特例』申請が必要な選手については、TUE 申請書式を <http://www.realchampion.jp/download> よりダウンロードし、必要事項を主治医に記入してもらった上で、大会開催の 30 日前までに日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) TUE 委員会へ提出すること。

提出先: 〒112-0002 東京都文京区小石川 1 丁目 12 番 14 号

日本生命小石川ビル4階

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 TUE 委員会宛

TEL : 03-5801-0939 FAX: 03-5801-0944